

心はもちろん大切ですが  
わたくしどもの仕事では  
見かけはもつと重要ですよ  
というの  
見かけに心が出るからです

— 亞里馬々商会主人謹白



学生時代からマンガ家として注目され、雑誌「ガロ」や「朝日ジャーナル」などで独創的なマンガ作品を発表していた佐々木マキは、1973年に絵本『やっぱりおおかみ』で絵本作家として衝撃的なデビューを遂げました。その後『ぼくがとぶ』『ムッシュ・ムニエルをこしょうかいします』『ねむいねむいねずみ』など数多くの絵本を発表し絵本作家として活躍する一方で、村上春樹らの小説の挿絵を描くなど、幅広い年代に親しまれてきました。2011年には初期のマンガを収録した作品集『うみべのまち 佐々木マキのマンガ1967-81』が刊行され、前衛的・実験的と評された当時のマンガ作品に再び注目が集まっています。

本展は「佐々木マキ見本帖」と題して、約45年間の多岐にわたる創作活動を振り返る初めての展覧会で、マンガや絵本の原画のほか、挿絵や装丁画、版画、写真、陶製のフィギュアなど貴重な作品約180点を展示します。中でもマンガ『ピクルス街異聞』と『うみべのまち』、絵本作家としてのデビュー作『やっぱりおおかみ』の原画はそれぞれ全点が展示されます。かつて「ガロ」を愛読していた世代から現在絵本に親しんでいる小さな子どもたちまで、佐々木マキのシニールでクールな不思議世界を多くの方々にお楽しみいただける絶好の機会となることでしょう。

※展示作品数は変更する場合があります。

イラストレーション

上 版画「ビンの中」1971  
下 村上春樹「羊男のクリスマス」1985



絵本

上「やっぱりおおかみ」1973  
下「また、またのたね」2005



マンガ

『ピクルス街異聞』1971



関連イベント

●佐々木マキ スペシャル対談  
「45年間をふり返って」

日時：10月12日(日)  
13:30～15:00

講師：佐々木マキ、穂積保

会場：メルヘンホール

対象：一般

参加：無料

※対談終了後、対象書籍を購入された方を対象にサイン会を実施

定員：80名

申込：往復はがきに住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記入し、「佐々木マキ スペシャル対談」係まで。

締切：9月19日(金)

●ギャラリートーク

日時：10月11日(土) 15:00～

講師：穂積保

会場：「佐々木マキ見本帖」会場内

参加：無料 ※申込不要

※「佐々木マキ見本帖」観覧券が必要

●おはなし会

日時：9月28日、10月5日、19日、26日、  
11月9日の日曜日 14:00～

出演：おはなしさんぽ、  
ストーリーテリングの会「おはなしの森」ほか

会場：親子読書コーナー

参加：無料 ※申込不要

WAVE in かがしま 2014

日時：9月27日(土)、28日(日)

第一部 9月27日(土) 13:30～14:30

ギャラリートーク「佐々木マキさんの絵本について」

講師：穂積保(こどもの本WAVE代表)

参加：無料

※申込不要 ※「佐々木マキ見本帖」観覧券が必要

第二部 9月27日(土) 15:00～17:00

ワークショップ「スタンプでてぬぐい作り」

講師：齋藤 楨(絵本作家)

対象：3歳以上の子どもとその保護者

定員：50名(超えたら抽選) 参加：無料

申込：往復はがきに住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を書いて、「ワークショップ スタンプでてぬぐい作り」係まで。  
※9/7(日)必着

第三部 9月28日(日) 10:30～12:00

橋本博講演会「佐々木マキさんのマンガとガロの時代」

講師：橋本博(NPO法人 熊本マンガミュージアムプロジェクト代表)

定員：70名(先着順) 参加：無料

申込：メール(kinmeru8@k-kb.or.jp)、FAX、往復はがきのいずれかに、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、参加人数を明記し、「橋本博講演会」係まで。電話申込も可。

●くわしくは かがしまメルヘン館まで



“The Mark of Maki Sasaki”

【交通のご案内】

市電(朝日通)・バス(金生町)…下車徒歩7分

カゴシマシティビュー(西郷銅像前)…下車徒歩3分

駐車場17台(内2台は身体障害者専用)

※ご来館の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。



かがしまメルヘン館

〒892-0853 鹿児島市城山町5-1 TEL: 099-226-7771 FAX: 099-227-2653  
WEB: http://www.k-kb.or.jp/kinmeru/